

日本鉄鋼協会記事

理事会

第2回理事会 開催日：6月11日。出席者：石原会長，ほか 39 名。

1. 新素材試験評価調査委員会および委員長委嘱の件
企画委員会で新素材の試験評価事業に関する補助事業の受け入れを決定し，標記委員会の設置および田中良平東京工業大学教授の委員長委嘱を決定した。

2. 秋季講演大会時の湯川メモリアルレクチャーの開催について

Prof. Dr M. C. Flemings (MIT) の湯川メモリアルレクチャーを依頼することを決定した。

3. 日本カナダセミナー開催の件

The Canadian Steel Industry Research Association から Secondary Steelmaking に関して日本とのセミナーを開催してほしい旨申し入れがあった。時期は本年12月3, 4日を予定し当方実行委員長を大須賀立美君(日本鋼管)に委嘱することを決定した。

企画委員会

第2回企画委員会 開催日：6月7日。出席者：栗田委員長，ほか 21 名。

1. ISO/TC17/SC17 及び WG1, WG2 東京会議報告

本年4月8日～12日に TC17/SC17/WG1 (線材) 及び WG2 (線材製品), TC17/SC17 (線材および線材製品) の会議が開催され審議内容の報告があった。

2. 国際冶金学会専務理事会議報告

三井常務理事報告・本年5月21日にロンドンで標記会議が開催され，圧延国際会議の準備状況の報告を行った。他 1989 年までの国際会議の開催予定の説明があった旨報告。

3. 本会と日本金属学会両支部の明確な区分について
支部の会計区分が金属学会と一体になっている支部がいくつかあり，具合が悪いので 60 年度中に整理して遅くも 61 年度よりスタートすることになった。

編集委員会

第4回和文会誌分科会 開催日：6月13日。出席者：坂尾主査，ほか 22 名。

1. 29件の論文審査報告がなされ，掲載決定18件，照会后掲載可5件，修正依頼2件，その他4件であった。

2. 「鉄と鋼」第71年第14号(10月号)に論文6件，技術報告5件掲載決定した。

第4回欧文会誌分科会 開催日：6月14日。出席者：大森主査，ほか 16 名。

1. 14件の原稿につき審査報告がなされ，掲載可3件，照会后掲載可1件，修正依頼9件，返却1件であった。

共同研究会

S60 第1回運営委員会 開催日：6月11日。出席者：石原会長，ほか 21 名。

議題は次の通り。

1. 昭和 60 年度第 1 回共同研究会総務幹事会議事録の報告

2. 昭和 59 年度共同研究会決算報告

3. 昭和 59 年度共同研究会活動報告

その他として，事務局内技術部の業務内容見直しの件について説明し了解を得た。

第66回製鉄部会 開催日：5月16～17日。開催地：新日鉄・大分。出席者：伊沢部会長，ほか 119 名。

1. 講演Ⅰ「君津第3高炉設備炉体解体調査について」

2. 講演Ⅱ「加古川製鉄所における原料ヤードの変遷」

3. 共通議題「高炉のオイルレス経済操業について」

4. 自由議題 8件

第30回コークス部会 開催日：6月6～7日。開催地：神鋼・加古川。出席者：伊沢製鉄部会長，ほか 165 名。

1. 共通議題「コークス工場における省エネルギーの現状と今後の方向」

2. 自由議題 8件

第25回電気炉部会 開催日：5月30～31日。開催地：中山製鋼所。出席者：池見部会長，ほか 80 名。

1. 議題

(1) 特別講演

「電気炉工場の合理化について」

電気炉改造プロジェクトチーム班長 藤田富雄氏

(2) 共通テーマに関する研究報告

共通テーマ：「電気炉操業におけるトータルエネルギー管理に関する諸事項」

座長：(株)中山製鋼所 製鋼技術室長 馬場恒二氏

(3) 自由テーマに関する研究報告

2. 次回予定 未定

第80回圧延理論部会 開催日：6月13～14日。開催地：東洋鋼板・下松。出席者：中川部会長，ほか111名。

第80回は統一テーマとして「薄物および極薄圧延技術」をとりあげた。その他テーマも含め各社より19件の論文の発表があり活発な質疑応答が行われた。更に特別講演として「ハイドロテンションレベラー」について鋼板，御園生一長殿より講演があり工場見学ではこの実操業についても見学することができた。

条鋼部会

第 41 回大形分科会 開催日：6月6～7日、開催地：川鉄・水島、出席者：毛利主査，ほか 92 名。

1. 工場操業状況（期間：昭和59年8月～60年1月）
2. テーマ研究「小ロット多品種注文への対応策について」
3. 自由議題 6件
4. 特別講演「構造用鋼材に対する要望—建築設計者の立場から—」講師：日建設計 内田直樹氏

第 58 回中小形分科会 開催日：5月30～31日、開催地：東海鋼業・若松、出席者：上村主査，ほか 87 名。

1. 工場操業状況（期間：昭和59年8月～昭和60年1月）
2. テーマ研究
Aグループ「ロール管理」
Bグループ「生産能率の向上について」
3. 自由研究
4. 特別講演「中小形鋼圧延用製造ロールの現状について」

講師：日立金属 平田一雄氏

第 59 回線材分科会 開催日：5月23～24日、開催地：住友電工、出席者：熊野主査，ほか 77 名。

1. 工場操業状況（期間：昭和59年10月～12月）
2. テーマ研究「製造原価の解析とその低減対策」
3. 自由研究テーマ 13件

第 44 回鋼管部会 開催日：6月7～8日、開催地：川鉄・知多，新日鉄・名古屋、出席者：森部会長，ほか 168 名。

1. 共通議題「鋼管用素材について」（川鉄・知多）
2. 溶接鋼管分科会報告
(1) 概況報告（河野主査）
(2) 「外面塗覆装について」（住金・鹿島）
3. 自由議題 3件
4. 特別講演「パイプ溶接と関連する溶接現象」（大阪大学・西口教授）
5. 工場見学

川崎製鉄(株)知多製造所
新日本製鉄(株)名古屋製鉄所

鉄鋼分析部会

第 1 回化学分析分科会 開催日：5月30日、出席者：針間主査，ほか 53 名。

1. 議題
(1) 鋼中酸化物の抽出分析定量法に関する研究
(a) 第6回共同実験試料に関する自発検討結果の報告
(b) 第6回共同実験結果の報告と審議
(c) 第7回共同実験の進め方
2. 次回予定
(a) 日時：昭和60年10月24日(木)，25日(金)
(b) 場所：日本鋼管 福山

第 1 回機器分析分科会 開催日：5月31日、出席者：佐伯主査，ほか 53 名。

1. 機器分析分科会の運営について
2. 新しいWG活動
(1) 鉄鉱石ガラスビード蛍光X線分析法の ISIJ 法の改訂 WG 活動計画
(2) その他課題について
3. その他

第 76 回熱経済技術部会 開催日：5月30～31日、開催地：日新・呉、出席者：杉田部会長，ほか 129 名。

1. 研究議題「呉製鉄所の省エネルギー」（日新・呉）
2. 省エネルギー台帳まとめ報告（吾婦製鋼）
3. 統一議題「製造工程間における温度降下防止と対策実施項目」（まとめ：住金・和歌山）
4. 自由議題 14件
5. 工場見学 日新製鋼(株)呉製鉄所

設備技術部会

第 32 回圧延設備分科会 開催日：6月13～14日、開催地：日造・大阪、出席者：中田部会長，坂戸主査，ほか 143 名。

共通議題Ⅰ「プロセスラインにおける蛇行対策」は専門委員会できりあげまとめを行った。更に各社より事例発表 8 件が行われた。又共通議題Ⅱ「ゴムロール・ブラシロールの整備および長寿命化」についてはまとめを新日鉄より，又各社より 7 件の事例発表が行われた。

自由議題としては「三菱高速エッジミラーについて」，「イシクリーン設備における最近の改善事例」および「圧延機用クロスピン型 UJ の信頼性向上」について発表が行われた。

第 18 回電気設備分科会 開催日：5月23～24日、開催地：鋼管・京浜、出席者：中田部会長，舟木主査，ほか 125 名。

共通テーマ「配電系統における高調波の問題」について専門委員会で報告を行った。難しいテーマであつたが実測データが多く，又管理指標値の目安も示されており今後の対策に役立つものであつた。

その他自由テーマとして各社より 12 テーマが報告された。

高温強度研究委員会

第 6 回高温強度研究委員会 開催日：6月12日、出席者：田村委員長，ほか 16 名。

1. 各分科会の昭和 59 年度事業報告と会計報告。特にデータシート作成分科会と切欠き効果試験分科会より，報告書を 1 件ずつ発刊した旨が報告された。
2. 各分科会の昭和 60 年度事業計画と会計予算報告。特に高温熱疲労試験分科会と高温脆化分科会より，今年度中に報告書を発刊する予定で準備中であることが報告された。
3. 研究委員会主催のシンポジウム開催について
4. 特別講演 1 件
「SUS 304 鋼の高温低サイクル疲労寿命における切欠き効果と応力多軸性」（共同研究を含めて）

第24回高温熱疲労試験分科会 開催日：5月24日。

出席者：雑賀主査，ほか17名。

1. 研究報告書の原稿内容の確認。
(これまでの研究成果を発刊する為，原稿作成中)
2. 上記研究報告書の作成スケジュール。
(昭和60年10月に発刊予定)
3. 6月12日の親委員会提出用資料について。
4. 次回研究テーマのアンケートについて。

第10回クリープ強度外挿法分科会 開催日：5月17日。

出席者：藤田主査，ほか12名。

1. 講演「MansonのMCM法と従来のTTP法との比較」
2. 文献の紹介(3件)
3. 今後の分科会の運営について
委員の実施した分科会運営のアンケート結果をもとに
むこう2～3年間は材料の寿命予測や余寿命推定における
外挿法の役割について，文献調査を行うことになった。

第4回低炭素鋼板研究委員会

開催日：5月31日。出席者：阿部委員長，ほか18名。

1. 研究発表
 - (1) 炭低素鋼板の再結晶集合組織に及ぼすCrおよびSiの影響
 - (2) A STUDY OF Cr-C DIPOLES IN LOW-CARBON STEELS
 - (3) Nb添加極低炭素冷延鋼板の再結晶集合組織に及ぼす析出物分布の影響
 - (4) 連続焼鈍材の深絞り性に及ぼすセメンタイトの影響
2. その他

第9回熱延プロセス冶金研究委員会

開催日：5月28日。出席者：田村委員長，ほか13名。

1. 話題提供
 - ・東大・石田委員「偏析を受けた結晶粒界の理論的解明」
 - ・大同・斉藤委員「ばね鋼の $\alpha \rightarrow \gamma$ 変態中塑性加工」
2. その他

第2回鉄鋼標準試料委員会常任委員会

開催日：6月13日。開催地：新日鉄・広畑。出席者：川村委員長，ほか16名。

1. 標準値の決定
鉄鉍石シリーズ・インド赤鉄鉍801-4のGW，マルコナペレット850-4のFeO(参考値)
2. 機器分析用微量元素シリーズCの取扱いについて
3. JSS新品種についてのニーズ調査(案)
4. 硫化物抽出分離定量用標準試料の需要調査結果の報告
5. その他

第56回材料研究委員会

開催日：5月20日。開催地：川鉄・六本木クラブ

出席者：大橋委員長，ほか11名。

現在，委員会としてテーマ「鋼材の破壊靱性に対する高純化の影響」についての成果報告書をまとめ中であり各社の最終報告案について報告討論を行った。

鉄鋼技術情報センター**第43回センター編集委員会** 開催日：5月22日。開催地：鋼管・京浜。出席者：山田委員長，ほか10名。

1. 情報収集対象誌の現状
2. 「鉄鋼技術総覧」誌の誌面の合理化
3. その他
4. 製鉄所関係者との懇談会
5. 工場見学：日本鋼管(株)京浜製鉄所

第20回情報検索委員会 開催日：6月13日。出席者：梅田委員長，ほか9名。

1. 第19回委員会議事録内容の確認
2. JICST大阪研究集会へのIR研究会(テーマ：金属DBを主体とした検索システムの比較)の発表形式報告
3. FACT DATAに関する最近の欧米動向(三井委員)
 - (1) ISE, AIME, ASMの活動状況
 - (2) メーカー，流通機関，コンサルタントによる萌芽領域を含む技術セミナーを営利形態で開催する等。
 - (3) 西独鉄鋼協会の情報処理
4. 九州大学大型計算機センター見学
 - (1) AIRシステムによるINSPEC文献検索
 - (2) AIRシステムによるJICST文献ファイル(日本語データの検索)

第27回図書資料委員会 開催日：6月7日。開催地：大同・くろがね荘。出席者：岩崎委員長，ほか11名。

1. 前回議事録の確認
2. 鉄共研資料のマイクロ化，及び利用システムについて
3. BISITS Translation
4. 図書資料担当女性社員研修会
5. 境界領域の図書，雑誌
6. その他

鉄鋼基礎共同研究会**第44回運営委員会** 開催日：6月4日。出席者：佐野会長，ほか18名。

1. 昭和59年度鉄鋼基礎共同研究会会計実績報告
2. 昭和60年度鉄鋼基礎共同研究会予算
3. 各部会活動報告

融体精錬反応部会，鉄鋼の環境強度部会，鉄鋼の急速凝固部会，高純度鋼部会。なお，融体精錬反応部会は活動終了報告も行った。

4. 昭和 61 年度新規発足部会テーマ選定計画
新規に 2 部会を発足させるべく部会テーマ候補を募つたところ、鉄鋼協会及び金属学会より計 6 件の提案があつた。これらのテーマ候補を絞り込むためにテーマ選定小委員会を設置し、7 月末に開催することが決定された。

.....
第 5 回鉄鋼の急速凝固部会 開催日：5 月 21 日。開催地：新日鉄・新山谷寮。出席者：大中部会長，ほか 36 名。

1. 前回議事録確認
2. 合金溶湯の過冷却鋭敏化処理について
北大・工藤委員
3. 急冷凝固による準安定相とその機械的性質
東北大・井上委員
4. 回転水噴霧法による急速凝固粉末の製作と特徴
阪大・山内委員，大中部会長
5. 超合金急冷リボンの稠密化
石播・中川委員
6. 急冷凝固薄板の材質特性
三菱・角井委員

.....
第 11 回鉄鋼の環境強度部会 開催日：5 月 14 日。出席者：駒井部会長，ほか 24 名。

現在当部会では、HT50 他 6 鋼種について人工海水中腐食疲労き裂進展速度試験他の共通試験を実施しており、データもかなりの量が得られている。今回の部会では得られた結果の写真集「鉄鋼，海洋環境破面写真集 Vol. 1」，とりまとめグループ作業の中間報告および継続中の共通試験データの報告と討論が行われた。

日本圧力容器研究会議

材料部会

第 31 回非破壊試験専門委員会 開催日：5 月 27 日。
出席者：雑賀委員長，ほか 15 名。

1. 議事
 - (1) 第 30 回議事録の件
 - (2) PISC III：計画のその後の動向
 - (3) PISC II 計画 Plate 9 のブロックの探傷結果
 - (4) PISC II Plate の日本の探傷結果
 - (5) 次回予定
- 日時 7 月 15 日 (月) 13:30~18:00
場所 日本鉄鋼協会会議室
議題 (a) 日本チームのデータにもとづく意見のまとめ
(b) PISC Meeting への出席者の決定
(c) その他

第 36 回圧力容器用鋼材専門委員会・第 31 回同 T/G 合同会議 開催日：5 月 30 日。出席者：小指委員長，ほか 13 名。

1. 議題
 - (1) 共同研究関係
 - (2) TMCP 鋼データサーベイ
 - (3) その他
2. 次回予定
 - (1) 日時：8 月 6 日 (火)
 - (2) 場所：日本鉄鋼協会会議室

本会名誉会員ポール・ラコンブ博士 勲三等旭日中綬章受章

本会名誉会員ポール・ラコンブ博士（パリ南大学名誉教授，フランス）は永年に亘り，金属材料開発の推進に尽力されるとともに，日仏科学技術交流に多大の貢献をされたことに対し，昭和 60 年 5 月 28 日勲三等旭日中綬章を受章した。

新刊紹介

「水素侵食に関する文献抄録集」

日本圧力容器研究会議編

価格 1,000 円 (送料別) (B5判 68 ページ)

米国の代表的技術研究団体である Welding Research Council (WRC) の枢軸組織として活動している Pressure Vessel Research Committee (PVRC) からの要請を契機として生まれた日本圧力容器研究会議 (JPVRC) では設立以来，圧力容器の信頼性の観点から研究を活発に行つてきています。

そのひとつとして，昭和 58 年 4 月から 1/2Mo 鋼お

よび Cr-Mo 鋼の水素侵食挙動に関する研究，文献調査を行い，このほど論講を終了し抄録を作成しました。

当初この文献調査は委員の水素侵食に対する知識を深め，以後に行う共同研究結果の解析等に利用する目的で始めたものですが，その成果を JPVRC 内部にとどめず，広くこの分野に携わる方々に役立てたいとの考えに到達し，発行することにしました。是非ご利用下さいませようご案内いたします。

申込方法 現金書留，銀行振込，郵便振替
(東京 7-193) でお申し込み下さい。

申込先 〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4
(社) 日本鉄鋼協会庶務課
Tel. 03-279-6021